

広がるエネルギー地産地消

2017年エネルギー白書より

【日本】地域密着型事業を展開するエネルギー企業

- ドイツでは、地域に密着し、エネルギーを含む生活サービスを提供する「シュタットベルケ」という共同体が古くから存在。現在1,400者程度。
- 我が国でも、地域密着型のサービスを提供する事業者が存在。

ドイツのシュタットベルケについて

①地域資源の活用

- ・地域の水力発電所やバイオマス発電所などの運営
- ・廃棄物処理炉やコジェネレーションから発生する熱の利用など

②地域雇用の創出

- ・直接雇用、間接雇用、誘発雇用など雇用の創出

③地域に密着したサービス例

- ・住居内の電気配線であっても、技術者を派遣。
- ・停電によって冷凍庫内の食品が損傷を受けた場合には損失額の補填を訴求

シュタットベルケ全体の経済規模（合計）

業種	売上高 (億円)	従業員数 (人)
電力	70,049	63,019
ガス	35,846	33,643
熱	5,446	9,638
合計	111,341	106,300

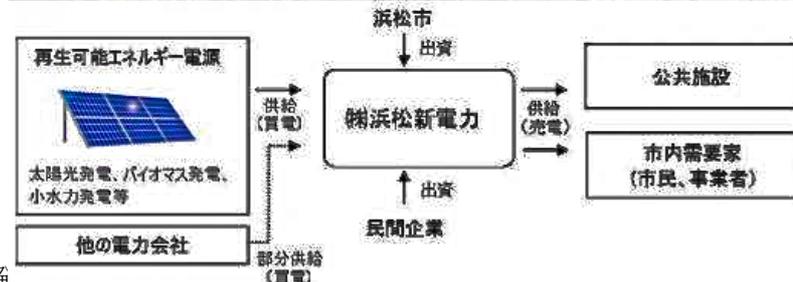
(内容は2013年時点。1ユーロ=140円換算)

地域に密着した日本のエネルギー企業の事例

事業者名	内容
みやまスマートエネルギー (福岡県みやま市)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で発電した太陽光発電の電気を通常より1円/kWh高く買電し、需要家への売電も実施することで電気の地産地消を目指す。 ・水道とセットで毎月50円引、生活総合支援サービス（見守りなど）に申し込むと300円/月還元など各種割引が存在。
ローカルエナジー (鳥取県米子市)	<ul style="list-style-type: none"> ・米子市と地元5企業で設立し、市内のゴミ焼却発電や太陽光発電等から電力を調達し、8割が地産電源。
とっとり市民電力 (鳥取県鳥取市)	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市と鳥取ガスが共同で設立し、エネルギーの地産地消を進め、地域の経済循環と活性化を図る。
サーラコーポレーション (愛知県豊橋市)	<ul style="list-style-type: none"> ・中部ガスを中心としたサーラグループはエネルギーの他、住宅販売、車販売、カルチャースクールなど生活全般サービスを地域密着で提供。

(出典) 各社提供資料等より資源エネルギー庁作成

浜松市の事例 自然エネルギーによる地産地消を行う政令指定都市として全国初の地域新電力事業を実施



浜松新電力による地域への波及効果

1. 再生可能エネルギーの活用
 2. 電力の地産地消
 3. 市内資源の有効活用
 4. 地域経済の活性化
 5. 市民への節電・環境意識の醸成
 6. エネルギーに不安のない強靱で低炭素な社会の構築
- (大阪から公害をなくす会気付 山本)

連絡先 大阪市中央区内本町 2-1-19-370